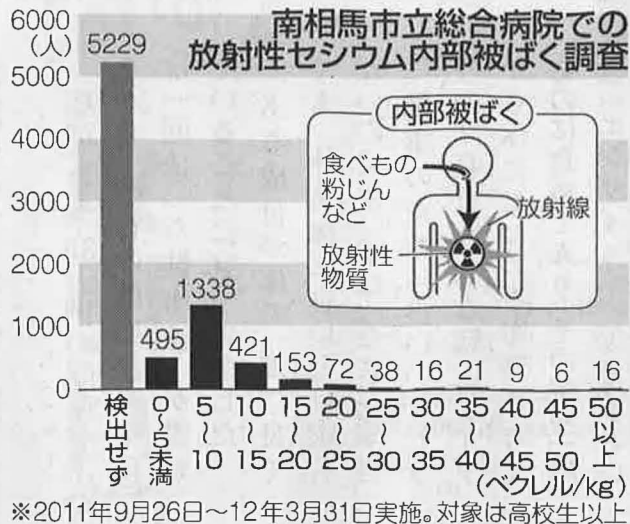


地域と環境

南相馬市立総合病院での放射性セシウム内部被ばく調査



ライナの汚染地域を調査。そこでは自家栽培の野菜など放射能検査をしていない食物を恒常的に食べていたことが、大量被ばくの主な原因だったという。これに対し福島

ベクレルとシーベルト  
放射能の量や影響を表す単位は複数あるが、内部被ばくの対策をするには、体内に現時点でどれほどの放射性物質が存在するかを直接示すベクレル表示が適している。一方のシーベルトは、被ばくでどれだけダメージを受けた可能性がある

かを示す。ただ、どんな条件で放射線を受けたのかを仮定して計算するため、計算方法で値が大きく異なり、被ばく対策の比較検討が難しい。福島県も内部被ばくを調査しているが、「1ミリシーベルト以下」と結果を公表するだけで、第三者評価を難しくさせている。

三カ月前に南相馬で出産した女性(三)は、母乳で赤ちゃんを安心して育てるため検査を受けた。「不安も多いが、子どもを守るため放射能のことを学びたい」と話した。

◇「幸福な田舎のつくりかた」金丸弘美著(学芸出版社 1890円)  
地域活性化アドバイザを務める著者が「新しい田舎のつくりかた」を紹介。「高校生が挑む『食の甲子園』」「若手



新刊紹介

農家が連携し、地域で稼げる農業」「都会の人と、地域を楽しむ農業」「若者が新風を吹き込む、レトロな商店街」など、地域の特徴を生かした提案の数々を紹介する。

ご意見・ご感想を!  
住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記  
〒100-8525 東京新聞生活部  
FAXは 03(3595)6931  
Eメールは seikatut@tokyo-np.co.jp

アラスカに暮らし

河内 牧栄

「おおさか」。店の看板には、ひらがなでそう記されている。店のすぐ後ろでは、鉛色の波が岸にぶつかっては砕けている。北極海に面した米国最北端の町パロー。その海岸沿いにこの店はある。

店名は先代の韓国人オーナーから引き継いだのを変えずに掲げている。リスさんは緑茶を持ってくると、隣に座って話した。「不景気になって二年、もう店を閉めようと思っていたの」。そういえば、夕食時だというのに以前より静かだ。「でも、あと五年は頑張るわ。この町で原油の試験掘削が始まるの。労働者も来始める。彼らはいいお客さんよ」



食堂を出て、雪降るツンドラを歩いた。1羽のシロフクロウと出会った＝米国アラスカ州、パロー郊外で

は、膨大な量の原油が眠っているという。パローの東約三百五十キ

原油試掘へ変化の波

韓国人が夫が作るの、すしやうどんなどの日本料理。

にあるアルドール湾油田は、アラスカ州の財政を支える重要産業だ。ここを訪ねる者は、地平線が続くツンドラの果てに、こつぜんと姿を現す原油施設群が作り出す、無機質な景観にある種の戸惑いを覚えるだろう。

(ネーチャーガイド兼写真家)

豆腐の中華蒸し

1人分233kcal、塩分2.3g

【主な材料・2人分】絹ごし豆腐1丁(300g)、豚ひき肉50g、味つきザーサイ40g、ショウガ小1かけ(5g)、万能ネギ3本  
【作り方】①豆腐はクッキングペーパーに包み、自然に水気を切る

②ザーサイは粗みじん切りに、ショウガはみじん切りにする。万能ネギは小口切りに③大きめの耐熱容器にひき肉、ザーサイを入れ、しょうゆ大さじ1/2、酒・ごま油・かたくり粉各大さじ1、塩少々を加えて混ぜ合わせる。豆腐を手でくずしながら加え、全体をざっと混ぜる。ラップをして、500Wの電子レンジで約6分加熱する④③にショウガと万能ネギをのせる。協力・ベターホームのお料理教室

